

8月1日（金）、赤塚中学校ランチルームを会場に、令和7年度赤塚中学校区保・小・中連携推進協議会夏季研修会兼学校運営協議会小中合同会が開催されました。

今回は、「赤塚中学校区の6つの園・校の職員が、『保小中一貫教育で伸ばす・育む非認知能力』を共通テーマにして研修することを通して、それぞれの園・校の実践がつながり、系統性のある保小中一貫教育を目指すきっかけづくりとする。」ことをねらいとした研修会を実施しました。

研修では、「保小中一貫教育で伸ばす・育む非認知能力」と題して、奈良県三宅町立三宅幼稚園園長・Nordic Educations 代表 徳留宏紀様からご講演をいただき、各校の学校運営協議会委員と職員、PTA役員、校区内3園の職員60名が聴講しました。

〈講演の概要〉

「非認知能力とは、学力テストやIQテストなどを用いて客観的な数値で測ることができる認知能力とは違い、数値で測ることのできない人間的な力である。非認知能力は、向上心・意欲・自信などの「自分を高める系の力」、忍耐力・自制心・レジリエンスなどの「自分と向き合う系の力」、コミュニケーション力・共感力・社交性などの「他者とつながる系の力」の3つのグループに分けられること、そして、非認知能力を育てるとは、すなわち心を育てることである。」と教えていただきました。また、非認知能力を育む方法について、自身の経験による多くの具体例を挙げて聞かせていただきました。

〈参加者の感想〉

- ☆非認知能力が何か、どれだけ大切な力なのか、具体例から深く学ぶことができた。
- ☆保小中一貫して皆で研修できたことはとても良かったと思う。この輪が家庭、地域まで広がっていくといいなと思った。
- ☆自分が考えてきたことと合致し、嬉しく思い、そして自信がついた。
- ☆先生たちに一番ささる研修会なのかなと最初は思ったが、保護者としてもメタ認知からの振り返りなど、家庭でも役立ちそうなことを聞いたので、とてもためになる研修会だった。
- ☆現状、保小中が個別化されている。今回の研修をもとに連携していければとても良いものになると思う。



【参加者同士で意見交換する場面もありました】